

第2期飯塚市地域福祉計画 事前質問に対する回答

No	質問	回答
1	<p>【資料1：2ページ】 No.5「認知症サポーター養成講座」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標と実績数が大幅に異なっている。 令和元年度に、地区社協で小学生対象の認知症理解の講座を持った。 サポーター養成対象にはならないのか。 	<p>本計画においては、国の指針に基づき、年1500人を目標値として記載しておりますが、飯塚市の目標値としては、高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画において年1000人を目標値として再設定しております。</p> <p>本講座は、令和2年度で12年目を迎え、平成26年、27年をピークに、延べ受講人数は1万1000人を超え、立ち上げからの10年間は、年間1000人の目標を概ね達成しております。</p> <p>平成26年度の受講者数1374名、平成27年度の受講者数1698名の実績を考えると本講座も12年目を迎え、一先ず、福祉に関心の高い一定数の方が受講されており、受講者数は落ち着いている傾向にあります。</p> <p>特に令和元年度、令和2年度については新型コロナウイルス感染症の関係で、受講者数が大幅に減少しております。</p> <p>つきましては、次期計画を策定する際には現状に合わせ目標設定を行いたいと考えております。</p> <p>飯塚市社会福祉協議会による認知症サポーター養成講座をご受講いただいた場合は、小学生等の在学者についても対象となっており、その場合、実績として挙げられております。</p>
2	<p>【資料2：2ページ】 No.5「自治会への加入促進」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会加入減少への対策について。 年々減少への歯止めがきかないとすれば、発想を変え、相互の生活支援組織や、災害時の日常互助組織といった目的意識付けでの再編を検討できないか。 	<p>現在も、自治会加入の促進に努めているところではありますが、依然としてその加入率は減少傾向にあります。</p> <p>ご指摘のとおり、漠然と自治会加入を促すのではなく、住民相互の生活支援、また災害時における助け合いといった、これからの時代に必要な「共助」について理解してもらうことが、自治会加入を促進するうえで大事な視点だと考えております。</p> <p>今後は、さらにその視点を意識しながら、自治会への加入促進に取り組んでまいります。</p>